

○「農業懇談会 直接支払継続と話し合いを」

(京都府宮津市 由良地区連絡会議)(平成31年度第2回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年7月23日(火) 19:00~21:00
- 場 所: 宮津市由良集会所
- 出席者: 藤井会長、協力員6人
市1人、事務局2人
※委員1人、委員以外9人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

2 地区の特徴、状況、課題

- 東部生産組合(浜野路・港・石浦)によるほ場整備地区(95人)。トラクターを所有し貸出
- 由良東部農地管理協議会(30人)で中山間・多面的事業を実施／由良地区営農組合が乾燥機を所有し、受託組織となっている
- 上石浦では個人がオリーブを直売／下石浦では、みかん組(代表・藤本とくお氏)合があるが組織活動はなし

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 農業懇談会
地区の話し合いの状況 由良宮本地区:放棄地対応 下石浦地区:中山間事業の取組 他4地区なし
現在の状況 由良脇地区:防護柵未設置地域に獣害 由良宮本地区:みかん畑後にオリーブ栽培
港地区:非農家を含む若者の草刈り参加 下石浦地区:防護柵4年経過し獣が侵入
上石浦:河床が高くなり塩害
今後の取組 多面的・中山間事業の継続、話し合いの実施、営農組織の継続
- 利湯状況調査(農業委員会事務局から説明)



4 活動結果

- 情報・意見交換 2 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援